

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史B	学年	第3学年	教科書	『詳説日本史』(山川出版社)
		単位数	4単位	副教材	『新詳日本史』(浜島書店) 『日本史重要史料集』(浜島書店)

学習目標
我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習方法
・授業では、単に年代や事項を暗記するのではなく、原因と結果の連鎖の中で作られていく全体的な流れを理解することに努めましょう。
・教科書や説明を補充するのに副教材を使用しますので毎回の授業に持ってくること。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	①	関心・意欲・態度	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
②	思考・判断・表現	課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	
③	資料活用 の技能	資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
④	知識・理解	基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	
⑤			

評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用 の技能	④知識・理解	⑤
授業への取り組み	○				
ノート作成	○				
小テスト	○				
定期テスト		○	○	◎	
観点別比重	10%	20%	20%	50%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	第Ⅰ部 原始・古代	10	第1章 日本文化の あけぼの	文化のはじまり	①原始・古代の社会に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②原始・古代の社会から課題を見出し、自然環境や大陸からの文化の変化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③原始・古代の社会に関する諸資料を活用することを通して、歴史的対象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④原始・古代の社会について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査
				農耕社会の成立		
				古墳とヤマト政権		
		16	第2章 律令国家の 形成	飛鳥の朝廷	①古代国家の形成に対して、関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②古代国家の形成と東アジア世界との交流と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③古代国家と古墳文化などに関する諸資料を活用することを通して、歴史的対象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④古代国家と東アジア世界との関係について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査
				律令国家の成立		
				平城京の時代		
	天平文化					
	7	第3章 貴族政治と 国風文化	平安朝廷の形成	①撰閣政治の在り方に対して、関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②撰閣政治の在り方について多面的・多角的に考察している。 ③撰閣政治に関する諸資料を活用することを通して、歴史的対象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④撰閣政治と地方武士との展開について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査	
			撰閣政治			
			国風文化			
	第Ⅱ部 中世	14	第4章 中世社会の 成立	地方政治の展開と武士	①武家政権の成立に対して、関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②武家政権の成立の過程について多面的・多角的に考察している。 ③武家政権の成立に関する諸資料を活用することを通して、歴史的対象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④武家政権の成立について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査
				院政と平氏の台頭		
鎌倉幕府の成立						
武士の社会						
蒙古襲来と幕府の衰退						
鎌倉文化	①鎌倉幕府に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②鎌倉幕府の体制を蒙古襲来や朝廷などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③鎌倉幕府の体制に関する諸資料を活用することを通して、歴史的対象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④鎌倉幕府の体制の変化について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査				

2 学 期	第Ⅲ部 近世	12	第5章 武家社会の 成長	室町幕府の成立	①中世の武士に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②中世の社会から課題を見出し、日本の諸地域と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③中世に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④中世の社会について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査
				幕府の衰退と庶民の台頭		
				室町文化		
				戦国大名の登場		
	8	第6章 幕藩体制の 確立	織豊政権	①織豊政権・幕単体制の特質に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②織豊政権・幕単体制の社会から課題を見出し、ヨーロッパ世界との接触と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③織豊政権・幕単体制の特質に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④織豊政権・幕単体制の特質について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査	
			桃山文化			
			幕藩体制の確立			
			幕藩社会の構造			
			幕政の安定			
	8	第7章 幕藩体制の 展開	経済の発展	①幕藩体制の下での社会に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②幕藩体制の下での社会から課題を見出し、経済活動の変化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③幕藩体制の下での各身分に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④幕藩体制の下での社会について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査	
			元禄文化			
	11	第8章 学反体制の 動揺	幕政の改革	①幕藩体制の動揺期に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察している。 ③幕藩体制の動揺に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④幕藩体制の動揺について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査	
宝暦・天明期の文化						
幕府の衰退と近代への道						
化政文化						
3 学 期	第Ⅳ部 近代・現代	22	第9章 近代国家の 成立	開国と幕末の動乱	①近代化の基盤の形成に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②近代化の基盤の形成から課題を見出し、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③近代化の基盤の形成に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④近代化の基盤の形成について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査
				明治維新と富国強兵		
				立憲国家の成立と日清戦争		
				日露戦争と国際関係		
				近代産業の発展		
		6	第10章 二つの世界 大戦とアジ ア	第一次世界大戦と日本	①第一次世界大戦に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史から課題を見出し、世界情勢と国内の動きと多面的・多角的に考察している。 ③第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査
				ワシントン体制		
				市民生活の変容と大衆文化		
				恐慌の時代		
				軍部の台頭		
				第二次世界大戦		
		18	第11章 占領下の日 本	占領と改革	①戦後の社会に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②戦後の社会から課題を見出し、自然環境や大陸からの文化の変化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③戦後の社会に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④戦後の社会について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査
冷戦の開始と講和						
6	第12章 高度成長の 時代	55年体制	①55年体制の下での社会に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②55年体制の下での社会から課題を見出し、自然環境や大陸からの文化の変化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③55年体制の下での社会に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④55年体制の下での社会について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査		
		経済復興から高度成長へ				
8	第13章 激動する世 界と日本	経済大国への道	①近現代の社会に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究している。 ②近現代の社会から課題を見出し、国際情勢の変化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③近現代の社会に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 ④近現代の社会について理解し、その知識を身に付けている。	観察 ワークシート ノート 定期考査		
		冷戦の終結と日本社会の動揺				
合計時数(50分授業)		140				